

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 24 27	職員の勤務時間やパターンにより、入所者の心理状態の把握がまちまちである。理解の深い職員とそうでない職員によって入所者が不穏な状況になりかねない。	入所者一人ひとりの思いや意向の把握、またはそれらに変化が見られた時に、全職員が情報を共有しチームとして支援を提供することで安心して暮らしていただく。	業務日誌及び個別介護記録簿を見直し、より多くの情報を書き込みやすいよう工夫する。紙面だけでなく口頭での申し送りをより密に実施する。	2ヶ月
2	30 31 34	主治医の往診時または外来への通院日に、その日出勤している職員が入所者の心身の状況を正確に伝えられない事がある。	職種に関わらず正確に健康状態を把握する。主治医の主治医の往診時に正確情報を伝え、処方される薬についても十分理解する。	業務日誌に体調の変化、次回受診予定日、治療法や薬の変更を書き込む欄があり、それらを正確に記入する。また、読み手に理解しやすい書き方に努める。	2ヶ月
3	43 45 46	排泄誘導の際、拒否などがあると声かけを工夫するが、他入所者が周囲にいるため自尊心を傷つけていたのではないか。入浴も同じくこちらの計画通りに進めたい思いから、つい急かしていないか。	排泄、入浴等のケアの統一	トイレ誘導や尿取りパッドの交換の声かけ方法の工夫、タイミングの計り方について職員間で話し合い、成功例に沿って同レベルのケアとなるよう各職員が努力する。入浴については、入所者ひとりひとりの意向を尊重し、急がず。急がさずを心掛け、見守り中心のケアをする。	2ヶ月
4	37 38	行事を実施することで彩のある日常を過ごして頂きたいが、一部の人しか楽しめていない。またレクなどに集中できない方もいる。	個人の体調や気分に合わせて生活の中で楽しみを見つけ、支援する。	レクリエーションや外出など9名全員を対象とせず、個人の過去の仕事や家族の中での役割そして趣味などを理解し、その日の体調に合わせて実施できる体制を整える。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。